

ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業現地説明会

宮崎県漁連漁政部は10月19日（木）、水産会館4階第一研修室において、「ALPS 処理水の海洋放出に伴う影響を乗り越えるための漁業者支援事業に対する現地説明会を開催した。

経済産業省が創出したこの事業には500億円の基金が設立され、廃炉に至るまでの長期間にわたり4つの支援事業によりALPS 処理水の海洋放出で不安を覚える全国の漁業者を支援するものとなっている。現地説明会には事業を管轄する一般社団法人漁業経営安定化推進協会（漁安協）の担当者2名が来宮、経済産業省と全漁連の担当者もWEBで参加され説明が行われた。県内からはほぼ全ての漁協より参事・実務担当者が参加し熱心に説明を聞き入っていた。

